

ソーシャルビジネス 三重の高校生と交流

小矢部園芸高校生

小矢部市の小矢部園芸高校の生徒が12、13の両日、三重県を訪れ、ビジネスの手法を用いて町おこしに取り組み高校生らと交流した。

ソーシャルビジネスプロジェクト（SBP）に取り組む



南伊勢、大槌高校との交流会に参加する小矢部園芸高校の生徒

きっかけにしてもらおうと、同校で公開講座を開くなど支援しているおやべてまひま協議会が企画。希望した1、2年生4人が参加した。

南伊勢高校（南伊勢町）では同町の特産品の詰め合わせギフトパックを販売している同校生徒や、SBPに取り組む岩手県大槌高校の生徒の活動を聞き、意見交換した。相可高校（多気町）の生徒が運営する高校生レストランを見学、将来シェフを目指している生徒の話聞いた。高校生レストランの生徒は伊勢志摩サミットの関連イベントに協力しているという。

小矢部園芸の國分勇次さん（2年）は「農業高校の特性を生かした活動を考えたい」

谷村玲奈さん（1年）は「同じ高校生とは思えないほど一人一人が夢に向かって行動していた」と刺激を受けた様子だった。